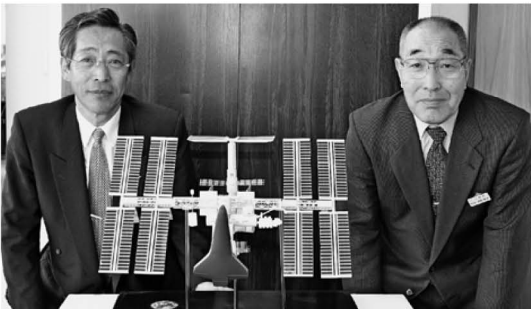


大 樹

町長室から宇宙のまちPR

模型寄贈の山村さんが表敬訪問



宇宙ステーション模型を作った山村さん(左)と伏見町長

の言葉を述べ、山村さんは「大事に飾っていたが、うれし」と笑顔を見せた。

同ステーションは日本

やアメリカ、ロシア、ヨ

ロッパ各国を計15カ

国が協力。地上から約4

00キロ上空に建設し、2

010年に完成する予

定。日本は「きぼう」日

本実験棟を同ステーシ

ョンに取り付ける。

帯広市役所に勤務して

いた山村さんは以前、伏

見町長と仕事で交流。1

987年にも趣味で作っ

た木製の同ステーション

の模型を町に贈ってい

る。今回の最新模型は、

東京都三鷹市の独立行政

法人・宇宙航空研究開発

機構(JAXA)に機会

あることに喜寄り、写

40坪、0.5坪のプラスチック棒を駆使、細部も綿密に仕上げた。現在は町長室に展示され、来客者に宇宙のまちをPRしている。子供たちが見とれれば」と山村さんはこの模型を2複製し、もう1基は帯広市児童会館に寄贈している。

(山村智裕)

【大樹】「国際宇宙ステーション」の200分の1スケール模型を昨年、町に寄贈した帯広市

の会社員山村正行さん(85)がこのほど役場を訪れ、伏見悦夫町長と面会した。伏見町長が感謝